

はじめに

ペットフードの販売の歴史は古く、すでに19世紀後半にはその記録が残されていて、その形状はビスケット状であったとのことです。

その後、缶詰製品が販売されましたが、第二次世界大戦の影響もあり、ドライフードが市販ペットフード市場の大半を占めるようになってきました。

また、現在のようなドライフード製造法であるエクストルージョン加工* は、1957年に開始されたとのことです。

*原材料を高温で加熱して押し出すことで粒状の製品を成型する技術

一方、日本でのドライフードの製造・販売は、1960年に米穀店での取り扱いが開始され、普及していききました。

米欧・日本ともに製造会社の母体は主に食品や飼料会社が担っていましたが、当時はもっぱら利便性や嗜好性に重きが置かれていました。

そして時代とともに徐々に栄養学的知見も加味されるようになり、現在に至っています。

※実際の内容と異なる場合があります



この章では、予防医療的（活動性を保ち健康で長生きする）見知からペットフードに求められる栄養特性や給与プラン（栄養指導）などについてまとめます。

正しそうなまたは真偽不明と思われる表現についても、できるだけ取りあげて検証したいと思います。

執筆者



Tsuchida Masahisa

土田 雅久

獣医師 / ペット栄養管理士

一般社団法人どうぶつ予防医療協会 理事

株式会社 PNCS 代表取締役

ペット栄養学会 所属

